

2017/8/14/-8/20 デボーションガイド 「ユースマナ」 詩篇 27:4 私は一つのことを主に願った。 私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。	2017/8/14(月) ヨハネ 12:1-11 マリヤがイエスの足に塗った香油は、約 10 カ月分の生活費に相当する金額の価値のあるものでした。自分の兄弟のラザロを蘇らせてくださったイエス様に、マリヤは感謝の思いで惜しげなく捧げました。しかしユダはこの捧げ物をもったいないと思いました。ユダの目には、香油よりもイエス様の方が軽く見えていたのです。神様は私たちが捧げるものの大小を見る方ではなく、捧げる私たちの心を見ておられるお方です。イエス様はマリヤの行為を喜ばれました。自分にできる最高のものを捧げるという姿勢をイエス様は喜ばれたのです。 ・神様のために使う時間や御金、労力をもったいないと思うことはないだろうか？ ・神様のことを自分の優先順位が一番に置く生き方とはどのようなものだろうか？	2017/8/15(火) ヨハネ 12:12-19 きみが受け取っている救いは、本当にスゴイものだと知っているかな？ イエス様がエルサレムに来ようとした時、皆んなしゅろの木の枝を持ってホサナと言って出迎えたよ。ホサナは「今救って下さい」という意味なんだ。その時出迎えた人はローマの支配から解放して欲しくて、もっと国が強くなって欲しくてホサナと叫んだよ。でもイエス様は戦いに使う馬ではなく、平和の象徴であるロバに乗って入場されたよね。それはイエス様の救いの本当の意味は、私達が罪赦されて、神様との平和、周りの人との平和、世界全体の平和のためだったからなんだ。罪の救いを受け取る時、今の状況にも救いがあることが分かるよ！！ 弟子達もイエス様が復活してからその事が分かったよ！！ 本当の救いを受け取っていることを感謝しよう！！希望を持って今ある課題を祈ろう！！	2017/8/16(水) ヨハネ 12:20-36 主は、十字架に向かう決心を新たにされる。そして、主イエスが十字架で死なれることによって人間の救いが成就すること、自己中心的な生き方を捨てるなら永遠のいのちを見いだすことを語られた。 また、仕える者の姿勢についてお語りになった。主に仕えるとき、主が十字架に向かわれたように、私たちもさまざまな葛藤の中で、自我に死に、自分の十字架を負って主についていく。避けようと思えば避けられるけれども、あえて信仰のゆえに負っていく。ご自分のためでなく、私たちのためにあえて十字架の道を歩まれた主の足跡に従う者になりたい。 イエス様、あなたの愛を もっと知ることが出来ますように！イエス様の愛の心で、互いに尊敬し、愛しあえますように！助けてください！
2017/8/17(木) ヨハネ 12:36-50 イエスは、ベテスダの池でのいやし、五千人の給食、生まれつきの盲人の癒し、ラザロのよみがえりなど、しるしとしてたくさんの奇跡を行われた。しかし、人々は主を信じなかった。罪ゆえに、彼らは見るべきものを見ることができず、聞くべきものを聞くことができなかった。罪は、心の耳を遠くし、心の目を堅く閉ざし、靈的に鈍感にし、理解できなくする。 一方で、指導者たちの中にイエスを信じる者も多くいた。しかし彼らは保身のために公にせず、神からの栄光よりも、人からの栄光を愛した。人前で表すことができないような信仰は本物ではない。 主を誇りとして、信仰を隠さないで生きよう！神様に信頼し、勇気をもらい、生きた信仰を歩もう！！	2017/8/18(金) ヨハネ 13:1-11 キリストがする事は時に不思議な行動に見えます。今日の箇所では、キリストは弟子達の足を洗いました。足は歩くとすぐに汚れてしまうので毎日洗う必要があります。つまり日々犯してしまう罪をキリストによって悔い改める必要がある事を表してました。キリストは罪だらけの私たちの足を洗い流して下さるお方です。その事を感謝しよう！ また、日々自分が犯してしまっている罪に気づいたら悔い改めよう！ そしてキリストによって私達がすでにきよめられた存在である事を受け取り出て行こう！	2017/8/19(土) ヨハネ 13:12-20 イエス様が弟子たちの足を洗った後でそれをした意味を弟子たちに伝えたね。 当時、足を洗うという仕事は 1 番家で低い身分の召使いの人がやるような仕事だった。でも先生、主と呼ばれるイエス様が弟子たちの足を洗った。自分から低い者となり、仕えられたんだ。 そして、あなたたちも同じようにしなさいと言われた。イエス様ご自身が最高のモデルになってお互いにどうあるべきかを教えてくれたんだね。 又、イエス様はユダの裏切りのことも同時に言われた。イエス様はすべて気づいていたけれど、弟子たち全員にしもべのように仕え、愛を表した。 イエス様の低い者となり仕える姿を模範にしていこう！今日会う人にどう愛を表し、仕えていくか考えてやってみよう！	2017/8/20(日) ヨハネ 13:21-38 イスカリオテのユダの裏切りについてイエス様は語られました。ですが、弟子たちは裏切る者が誰か全くわかりませんでした。なぜなら、イスカリオテのユダは弟子たちの前では仮面を被り、見られていない場所では財布からお金を盗んでいたからです。イエス様にはそれがわかっていました。 しかし、イエス様は名指しでイスカリオテのユダが裏切り者とは言いませんでした。それはユダに悔い改めの機会を与えていたからです。ユダには我に返る機会が与えられていました。ですが、ユダは裏切りを決断し、実行します。 私たちもいろんな場面で選択をしなければならぬ時があるよね。その時、自分の考えと神様のみこころが違う時もある。その時はどちらに従うべきだろう？迷ってしまうかもしれないけれど、神様のみこころに従いましょう。

